



新
インフル
エンザ
対

型
インフル
エンザ
策

No.23

京都府丹後保健所HPバナー

新型インフルエンザ NEWS

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 **京都府丹後保健所**
 (丹後広域振興局健康福祉部)
 保健室 感染症・難病担当
 〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
 TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
 www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所

検索

- ### もくじ
- ・この冬のインフルエンザ対策……………①
 - ・予防接種最新情報(2010-2011)……………①
 - ・知っておきたいワクチンの知識……………②
 - ・昨年のインフルエンザまとめ……………②

この冬のインフルエンザ対策

昨年の今頃は新型インフルエンザの流行により、家庭や学校、職場で感染予防やその対策に奔走されたことと思います。丹後地域での流行も本年3月には沈静化し、8月10日にはWHO(世界保健機関)が新型インフルエンザ(A/H1N1)について「ポストパンデミック(世界的大流行後)」とする旨の声明を発表しました。同時に「季節性インフルエンザと同様の状況にあるが、警戒の継続が重要」とサーベイランス(監視)やワクチン接種、医療提供に努めることを勧告しています。

6月23日、厚生労働省は今シーズンのインフルエンザワクチン株を決定し、昨年流行した新型インフルエンザを含め3種類の株が入った1本のワクチン接種を行うことになりました。

「喉元過ぎれば熱さ忘れる」とならないよう、今年の冬のインフルエンザについての心がけやワクチン接種について準備しておきましょう。

新型インフルエンザ 予防接種最新情報

2010-11

今季のインフルエンザワクチンは昨年流行した「A/H1N1型」と「A香港型」、「B型」のウイルス株(3価ワクチン)を用いて作られ、新型と季節性を同時に1回(子どもは2回)の接種で済むようになりました。(新型のみの1価ワクチンもあります)

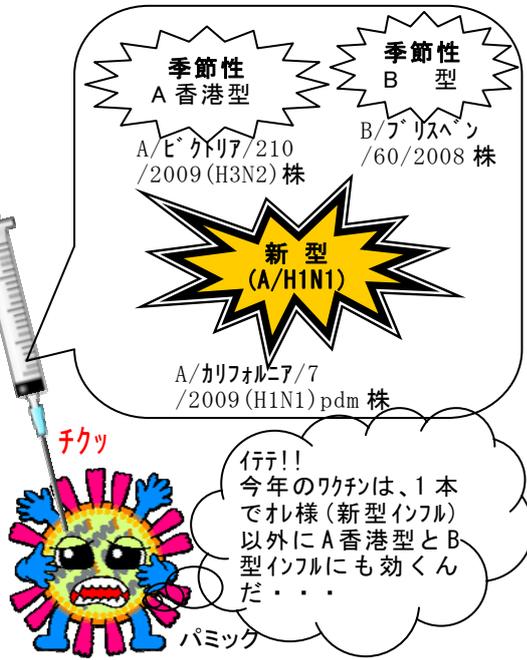
予防接種を受けてもインフルエンザにかかってしまうこともありますが、受けなかった場合に比べて軽くすみ、重症化を防ぎます。高齢者の方、重症化しやすい基礎疾患を持つ成人や子どもさんにはできるだけインフルエンザの予防接種をおすすめします。家庭や職場、施設等でうつさないためにも、皆さんが接種されることをおすすめします。

年齢別のインフルエンザワクチン接種方法			
対象者	接種回数	接種量	接種方法
1歳未満	2回	0.1ml	上腕伸部に皮下接種
1歳以上6歳未満	2回	0.2ml	
6歳以上13歳未満	2回	0.3ml	
13歳以上	1回	0.5ml	

対象者: 全ての住民(※昨年のような優先接種はありません)
接種時期: 平成22年10月～
接種場所: 国と契約した医療機関
費用: 4,000円程度(1回)

- ※ 65歳以上の方は従来の高齢者インフルエンザ予防接種と同様、補助制度があります。
- ※ 非課税・生活保護世帯の方は公費負担制度があります。(事前に市役所等で手続きが必要)
- ※ 市町によって接種時期や費用などが異なりますので、まずは市役所等に御確認ください。

今冬のインフルエンザワクチンのイメージ



季節性
A 香港型

A/ビクトリア/210
/2009(H3N2)株

季節性
B 型

B/ブリスベン
/60/2008 株

**新型
(A/H1N1)**

A/カリフォルニア/7
/2009(H1N1) pdm 株

行テ!!
今年のワクチンは、1本でオ様(新型インフル)以外にA香港型とB型インフルにも効くんのだ...



- 問い合わせ先 ●
- 宮津市保健センター
0772-22-7273
- 京丹後市健康推進課
0772-69-0350
- 伊根町保健センター
0772-32-3031
- 与謝野町保健課
0772-43-1514

予防接種Q & A (知っておきたいワクチンの知識)

毎年しなければならないのはなぜ？

インフルエンザは、年によって流行する型が変わることがあります。それは、インフルエンザウイルスが毎年、少しずつ変化するからです。一方、ワクチン接種でできた免疫は、ウイルスのタイプが少しでも違うものには効果がありません。つまり同じA香港型のウイルスでも、変化したものは別のウイルスと同じことになるのです。

また、ワクチンは、毎年、国内外の流行状況を調査して流行するタイプを予測したウイルスの組み合わせで作られています。日本で使用しているものは、病原体(ウイルス)を殺して作った不活化ワクチンというもので、生ワクチンに比べて持続期間が短く5ヶ月ほどしか効果がありません。

以上のことから、毎年接種を受けるようにしてください。

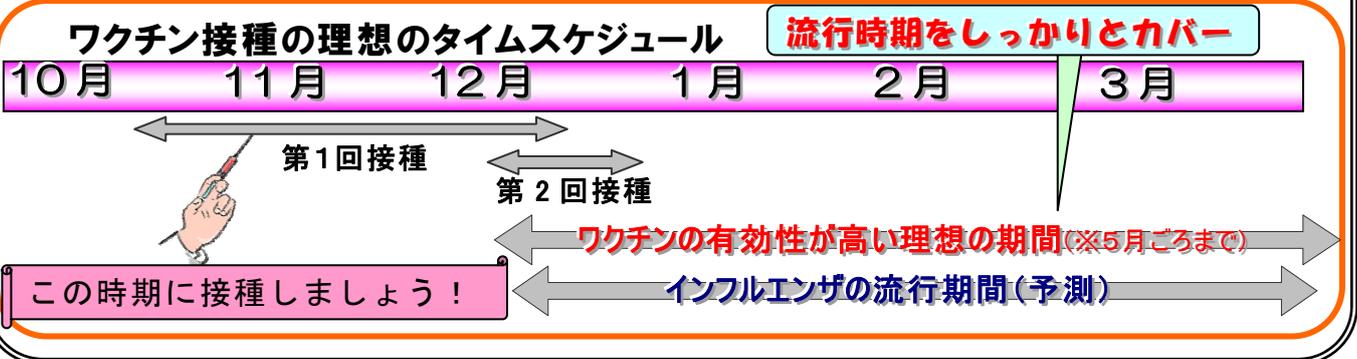
接種できない人は？

基本的には誰でも受けることができますが、ワクチンには、わずかに鶏卵の成分が含まれていますので卵アレルギーの方は注意が必要です。

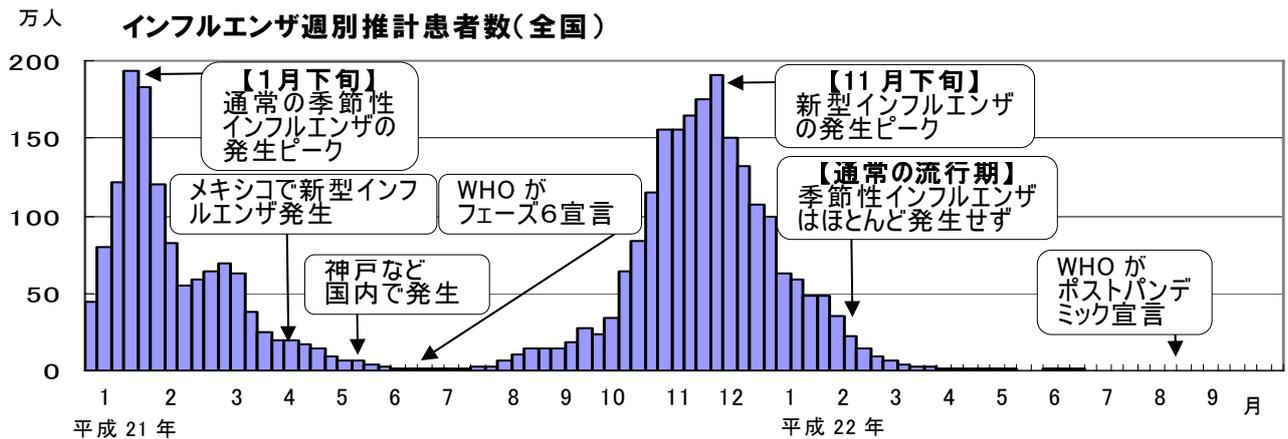
また、①発熱中、②重い急性の病気にかかっている、③過去にインフルエンザワクチン接種でアナフィラキシーショックの症状が出た・・・などの方は接種できません。

いつごろ受けるのが効果的？

効果があらわれるまで1~2週間かかります。インフルエンザの流行のピークは冬が多いので、10月中旬~11月までに受けていただくのが理想です。なお、子どもの場合は1~4週間の間隔をあけて2回接種が必要ですので、2回目の接種がこの時期までに終わるようにしてください。



国内における昨年の新型インフルエンザのまとめ



2009~2010 インフルエンザ流行状況 (感染症研究所全国罹患数推計値から)

例年なら1月・2月に流行のピークとなるインフルエンザですが、2009年は新型インフルエンザ(A/H1N1)の出現により、8月中旬に本格的流行に入り、11月末に流行のピークを迎えた後、今年3月には沈静化しました。新型インフルエンザでは、国内で202の方が亡くなられ、推計患者数は約2,077万人となっています。

予防接種はジングルベルが鳴るまでにネ！



ソナウレ君

新型インフルエンザNEWS No.24 (平成22年12月発行予定)

- ・ トピックス
- ・ インフルエンザ流行状況
- ・ 予防の実践